日本酒フェア 2015

特集 JAPANESE SAKE FAIR

ボーダレス・日本酒！豪華ダブル企画で来場者を魅了

JAPANESE SAKE

「日本酒フェア」リターンズ！。各地の銘酒と全国新酒鑑評会の入賞酒を一堂に集めた業界総力のイベントが、今年も帰ってきました（6月 20 日、東京・池袋サンシャインシティ）。海外での人気の高まりを追い風に、世界に羽ばたき始めた國酒・日本酒。この日会場には全国から 6,400 人もの来場者が詰め掛けて、“ボーダレス日本酒”の多彩な魅力に酔いしれました。

第9回「全国日本酒フェア」

平成26酒造年度 全国新酒鑑評会「公開きき酒会」

日本酒には、世代も性別も国籍も関係なし。みんなとっても楽しそう。

9回目迎えた「日本酒の祭典」。試飲、即売、セミナーetcを交え、万華鏡の楽しさ

2代目ミス日本酒の小川佐智江さん（左端）と日本酒マスコットのおちょこくん（右端）に囲まれて、オープニングのテープカットを行う。（法被姿左から右へ）中央会の佐藤清酒技術委員長、（独）酒類総合研究所の家村理事長、中央会の篠原会長と佐浦需要開発委員長。

「日本酒の祭典」として絶大な人気を誇る「日本酒フェア」。今年で 9 回連続の開催です。その人気の秘密は、❶ 全国新酒鑑評会の入賞酒を網羅した「公開きき酒会」と、❷ 各県酒造組合が自慢の地酒を持ち寄って試飲・販売を行う「全国日本酒フェア」（いずれも日本酒造組合中央会主催。「公開きき酒会」は（独）酒類総合研究所後援）を組み合わせたダブル企画の豪華さ。また、各種展示物や日本酒セミナーといった関連企画も豊富で、会場を巡るだけで、万華鏡のような日本酒の多様性を楽しむことができます。昨年同様土曜日開催となった今回は、「全国日本酒フェア」の実施方法やセミナーの内容などをマイナーチェンジ（次頁参照）。新たなお楽しみ企画も加えて、ベテランの日本酒ファンや若者、女性、外国人に向け、日本酒文化の分厚さと新たな可能性を発信しました。

▲ オープニングでは、中央会の篠原会長が「東日本大震災から4年3ケ月。一部の蔵元は今なお原発事故の風評被害に苦しんでいますが、各種の科学検査でも日本酒の安全は証明済みです。今日は全国の蔵元が丹精込めて造った國酒・日本酒の味を存分にお楽しみください」と歓迎の挨拶。

梅雨の晴れ間の土曜日開催。「休日でよかった」という参加者もあって、開場待ちの列が外に飛び出すほどの人出に。

三角くじで金バージョンのきき酒おちょこを当てよう！人気を集めた今年の新企画（77名限定）。

主催者の出迎えを受けて、いよいよ開場です。

試飲が済んだらお楽しみの抽選会。アンケートに答えて日本酒や酒蔵グッズをゲット。

日本酒フェア2015 第9回「全国日本酒フェア」会場から

45都道府県の900銘柄が勢ぞろい。初の2部入替え制で充実度アップ

鹿児島、沖縄を除く45都道府県の酒造組合が、約900 銘柄以上もの日本酒を出品した「第9回全国日本酒フェア」（他に日本酒造協同組合連合会など関係7団体と、漬物、珍味業界の協賛2団体が出展。会場＝サンシャインシティ ワールドインポートマート4F）。今回は、初めて2部入替え制（第1部10:30～14:00／第2部15:30～19:00）を導入したこともあって、会場は例年以上にヒートアップ感が強く、ある組合の担当者は「今年はなんか手応えが違いますね。空気が引き締まった感じ」と充実の笑顔。来場者も「すごい人ですね。試飲のお酒がなくなってしまいそうで心配」「毎年来てます。これだけいいお酒を試飲できるなんて、他では絶対ムリ」と大満足の様子で、浴衣や和服姿の美女、県のゆるキャラなどで工夫を凝らした各県のブースを巡りながら、出品酒を試飲・購入したり、サービスの特産物をつまんだりして、目一杯イベントを楽しんでいました（来場者の感想は6頁、各ブースの風景は7～9頁）。

可愛いゆるキャラや美女が出迎えてくれて

蔵元さんは親切で、特産物のサービスもあるし

おいしいオツマミも買えて、座って飲めるし

だから、どうしたって笑顔になっちゃいます。「日本酒っておいしいなって、改めてナットクしました」（女性参加者）

風評被害なんてブッ飛ばせ！パネル展示で日本酒の安全・安心をアピール。

日本産を示すJSSマークの説明やラベルの読み方など、商品選びのコツをアドバイス。

歴代首相による「國酒」色紙コーナー。「誰が上手いかな？」「こんなのあるんだね。おもしろーい」

様々な乾杯の風景。「日本酒で乾杯 デジタルフォトコンテスト」の入賞作品も紹介。

若さ、炸裂！

試飲に疲れたら、屋外の特設休憩所で小休止。「ギブアップ？全然。これからが本番」（参加者）

日本酒セミナー

日本酒クールスタイルなどをテーマに・新旧杜氏対談も興味津々

会場の一画に設けられたセミナールームでは、恒例の人気企画「日本酒セミナー」が開催されました。

今回は 2 部入替え制となったため、1 部 2 部でプログラムを変更。第 1 部では、❶ 日本酒アニメ「KANPAI！－乾杯－」の上映と、❷ （独）酒類総合研究所・藤井力氏（品質・安全性研究部門長）の講演「平成 26 酒造年度全国新酒鑑評会について」、第 2 部では、❶ 日本酒スタイリスト・こばたてるみ氏の講演「笑顔になる日本酒の飲み方・食べ方」と、❷ 日本酒スタイリスト・島田律子氏の講演「涼を呼ぶ日本酒クールスタイル」が行われたほか、いずれの部でも❸「酒造り今昔」と題してベテラン杜氏と女性杜氏が対談（第 1 部は天鷹酒造㈱の直町吳悦氏＆高沢酒造㈱の高沢賀代子氏、第 2 部は高天酒造㈱の伊藤訓氏＆同酒造杜氏代行の高橋美絵氏）。

日本酒カクテルの試飲や料理の試食もセミナーの魅力。

恋と日本酒を絡めた傑作SFアニメ「KANPAI」

参加者は、調味料に日本酒を使った料理の試食（こばた氏の講座）や、涼しい日本酒カクテルの試飲（島田氏の講座）なども楽しみながら各氏の話を熱心に聴講。また、麹づくりの実演などを行い、酒造りの難しさや楽しさを語り合った新旧杜氏対談にも、興味深そうに聴き入っていました。

藤井氏

こばた氏

島田氏

直町氏＆高沢氏

伊藤氏＆高橋氏

日本酒フェア2015 平成26酒造年度 全国新酒鑑評会 公開きき酒会の模様

入賞酒413点を一挙公開。最高峰の日本酒体験を求めて真剣にテイスティング

1911 年の創設以来、103 回目を迎えた全国新酒鑑評会。平成 26 酒造年度は、総出品数 852 点のうち 415 点が入賞（うち金賞 222 点）しており、酒類総合研究所では「寒暖の差が大きく酒造りの難しい年だったが、多くの製造場が技術を駆使して上手く対応」したと評価しています。

さすが入賞酒。サイコーの味です！

その入賞酒のほぼすべてを一挙公開したのが、日本酒ファン必見の試飲イベント「全国新酒鑑評会公開きき酒会」（会場＝サンシャインシティ 文化会館 4 F。第 1 部＝10:00～13:00、第 2 部＝15:30～19:00 の 2 部入替制）。9 回目目となる今回も、会場には鑑定のプロが選び抜いた最高峰の日本酒を体験しようと、一般のファンや流通関係者らが続々。オリジナルのきき猪口と出品リストを手に、仲間同士で楽しそうに話し合ったり、真剣な表情で酒質をチェックしたりして、地域別8ブロックの出品酒を順繰りにテイスティングしていました。（参加者の感想は 6 頁に）

真剣に、楽しく、心を澄まして

「含み香って、何？」わからないことは質問コーナーで。

パネルやビデオで酒類総合研究所の活動を紹介

さすがは全国新酒鑑評会の入賞酒。最高です。来てよかった。
こんないいお酒を好みのまま試飲できるなんて。他では絶対ムリ。

・毎年来てます。これだけいいお酒が、好みのままに試飲できるイベントって、ほかでは絶対ムリ。だから、今回は会社のお友達 3 人を誘いました。もちろん、みんな満足してます。最近の若い女性は日本酒を飲まないなんてこと、ないですね。量は昔の人より少ないかもしれないけど、おいしさは今の女性にも十分アピールします。（「全国日本酒フェア」の会場で。一般、女性）

・スーパーの酒類担当です。上司命令で勉強に来ました。さすがにすごいお酒がそろっていて、これからはお客さまに自信を持って薦められる気がします。いい勉強になりました。（「公開きき酒会」で。OL、女性）。

・職場の先輩が酒造組合のホームページで情報を見つけて、7 人そろって参加しました。全員初参加です。土曜開催は会社を休まなくていいので助かりますね。ただ、あくんまり人が多いんでビックリ。活気はあるけど、早く飲まないとなくなりそうで。「試飲のお酒はまだ残ってます」とか、会場で放送してくれないかな（「全国日本酒フェア」で。サラリーマン、男性）。

・酒造組合のホームページを見てはじめて来てみたけど、ホントに面白かった。日本酒に限らず、お酒はみんな好き。今日気に入ったのは、九州のお酒。珍しいし、味も好みに合いました。日本酒っておいしいなって、改めてナットクしました。（「公開きき酒会」で。一般、女性）

・栃木から来ました。日本酒大好き。今日も 3 本買いました。仕事柄、同僚と飲みに行くことが多くて、日本酒の味を覚えたんです。とても味わいに幅のある酒だと思います。（「全国日本酒フェア」で。建設業、男性）。

・日本酒を勉強するつもりで参加しました。いろいろ試飲して、自分にも結構好みがあるんだなってことがわかりました。居酒屋で仲間とワイワイ飲んでいる時と、なんだか味が違うみたいで、こういう場でじっくり試飲すると、やっぱり違いがわかってくるんですかね。（「公開きき酒会」で。学生、男性）

・名古屋から。東京にいた時も毎年来ていたので、止められません。それだけ魅力あるイベントだと思うけど、ボクのようなリピーターじゃない、初めての人も増えてるのかな？今の食生活に合わせたいろいろな楽しみ方を提案して、新しいファンを増やしてください。（「全国日本酒フェア」で。料飲店、男性）。

・さすが鑑評会の酒。最高です。これが普通の酒屋さんで買えたらなあ。それと 1 テーブルに 1 人ずつしっかり説明してくれる人がほしい。会場の出入り制限も緩めてください。きき酒に疲れて外に出たくても出られないのはきつい。でも、来てよかったな。（「公開きき酒」で。料飲店、男性）

第9回「全国日本酒フェア」

～各県酒造組合・関連団体・協賛団体の出展風景～

各都道府県酒造組合（連合会）のブースから

北　海　道

青　森　県

岩　手　県

秋　田　県

山　形　県

宮　城　県

福　島　県

群　馬　県

茨　城　県

栃　木　県

埼　玉　県

千　葉　県

東　京　都

神奈川県

山　梨　県

長　野　県

新　潟　県

福　井　県

石　川　県

富　山　県

静　岡　県

愛　知　県

三　重　県

岐　阜　県

滋　賀　県

京　都　府

大　阪　府

奈　良　県

和歌山県

兵　庫　県

岡　山　県

広　島　県

鳥　取　県

島　根　県

山　口　県

愛　媛　県

香　川　県

徳　島　県

高　知　県

福　岡　県

佐　賀　県

長　崎　県

大　分　県

熊　本　県

宮　崎　県

関連団体のブースから

日本酒造青年協議会

関西末広会

東京農大花酵母研究会

長期熟成酒研究会

スローフードジャパン燗酒コンテスト

ワイングラスでおいしい日本酒アワード

日本酒造協同組合連合会

協賛団体のブースから

全国珍味商工業協同組合連合会

全日本漬物協同組合連合会